

第218回 津久井の歴史こぼれ話を語る会

北条・武田の駆け引きと境目の城 “津久井城”

語り手 木村 弘樹 さん

(相模原市立博物館、学芸員(歴史担当))

日 時：令和2年4月19日（日）午後2時～4時30分（開場 午後1時30分）

会 場：相模原市立城山公民館 3階多目的室3 定員60名(先着順)予約は不要です。

(相模原市緑区久保沢2-26-1 JR橋本駅北口より神奈中バス「三ヶ木」行きで「城山総合事務所入り口」下車徒歩10分)

参加費：500円（資料代） ＊ご夫婦参加はペアで500円。中高生、大学生は無料です。



三増合戦戦場跡



築井古城記碑

戦国大名小田原北条氏と甲斐武田氏の外交戦略、駆け引き、そしてその境目の城に位置し攻防の舞台として登場する“津久井城”などについてお話しします。

主催：城山地域史研究会 会長 山口 清 事務局 三宅 (090-3219-2805)

次回（第219回）：6月21日（日）午後2時～ 会場：城山公民館大会議室（予定）

語り手 大野^{さと}敏 さん（横浜国立大、都市科学部・建築学科 教授）

演題：『津久井・相模原地区の古民家と人々の暮らし（仮題）』